



一般質問



9月定例会においては、17人の議員が一般質問を行い市政について質しました。
質問・答弁の内容は質問者本人が要約したものです。

ココが聞きたい!!

- ◆ 金田 淳一 議員 ④
- ◆ 2040年に向けて両津病院の立ち位置は
- ◆ 坂下 善英 議員 ⑤
- ◆ 三浦市政の「佐渡再生」の成果について
- ◆ 伊藤 剛 議員 ⑤
- ◆ 第一次産業の活性化が必要
- ◆ 上杉 育子 議員 ⑥
- ◆ 学校給食は教育の一環 地産地消の拡大を
- ◆ 室岡 啓史 議員 ⑥
- ◆ 佐渡市もSDGs 未来都市への名乗りを
- ◆ 宇治 沙耶花 議員 ⑦
- ◆ 外国人技能実習生受入と医療構想の見直しを
- ◆ 山田 伸之 議員 ⑦
- ◆ 市民の声を聞く施策を
- ◆ 佐々木 ひとみ 議員 ⑧
- ◆ 地方創生を後押し 新スタイル観光と未来は
- ◆ 中川 直美 議員 ⑧
- ◆ 「説明責任」無視は市民の信頼を失う
- ◆ 佐藤 孝 議員 ⑨
- ◆ 支所長・サービスセンター長にも決裁権限を
- ◆ 中村 良夫 議員 ⑨
- ◆ 認知症予防に補聴器購入の補助制度を
- ◆ 祝 優雄 議員 ⑩
- ◆ 知恵も汗も出せないものは去れ
- ◆ 稲辺 茂樹 議員 ⑩
- ◆ 佐渡が大きく変わるターニングポイントに
- ◆ 後藤 勇典 議員 ⑪
- ◆ Uターン者が安心して子育てできる島へ
- ◆ 荒井 眞理 議員 ⑪
- ◆ 市の緊急かつ重要課題に優先順位をつけよ
- ◆ 渡辺 慎一 議員 ⑫
- ◆ 佐渡汽船ジェットfoilについて
- ◆ 近藤 和義 議員 ⑫
- ◆ 出産祝金200万円給付と品質共済周知を

2040年に向けて 両津病院の立ち位置は

一般質問

金田 淳一 議員



【質問】政府は団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年が迫り、社会保障費を抑え込むことに懸命である。人口減少が進み佐渡市内でも医療需要は減少を続けている。佐渡総合病院建設から10年が経過してないが想定を超える患者の減少がある。佐渡全体の医療供給体制の中で、両津病院の使命をどう位置付けるのか。建築費に係る病院事業の償還額や新規開業後の一般会計に及ぼす影響はどうか。

【両津病院管理部長】 建築費から国県の補てん額を除き、病院事業債の対象となるのが約42億9000万円と見られている。30年の償還で25%交付税措置があるので、現計画では償還のピーク令和10年から12年の3年間、市の持ち出しが約2億円。その他の期間は1億5000万円から1億1000万円と見込んでいます。ピークの

の平成30年度決算では早くも予定より赤字額が大きくなっている。計画を見直すべきではないか。

【両津病院管理部長】 医療収益の外來人数と単価の違いにより約2700万円、他会計補助金でも見込み違いがあり2900万円ずれている。もう一度見直す必要がある。

【市長】 両津地区の医療拠点として佐渡市全体の中での機能分担を担い、持続可能な体制構築の一翼と考えている。実施設計のスケジュールは、令和6年10月の開院を死守するために設計の期間を逆算したもので速やかに基本設計に着手したい。

【質問】開院後の収支計画を示していたが、今議会提出

両津病院建設 病院事業債元利償還計画表
単位：千円(開院予定から10年間の抜粋)

年度	2024	2025	2026	2027	2028
	開業予定				令和10年
元利償還金	115,289	198,303	199,557	205,302	237,893
交付税措置	26,815	46,972	47,183	48,156	53,694
市単独負担	88,474	151,331	152,374	157,146	184,199

年度	2029	2030	2031	2032	2033
	令和11年	令和12年			
元利償還金	298,200	236,809	161,992	160,667	159,346
交付税措置	63,944	46,297	27,538	27,312	27,088
市単独負担	234,256	190,512	134,454	133,355	132,258

一般質問

坂下 善英 議員

三浦市政の「佐渡再生」の成果について



【質問】 観光振興課において観光データ調査が平成27年から現在まで10種類、13業務が発注されている。観光戦略を練る上で非常に大事な調査であると考えますが、市長、副市長はこれにより

データとして計画策定に必要な事業。冬季誘客のモデル商品としての平成28年から3年間の経済波及効果は2億3769万円と算出している。

社設立は平成29年の施政方針で「佐渡産品の生産、加工から販売までをプロデュースする組織体制の構築に向けた具体的な検討を始める」と謳ってある。任期が間もなく終わるが、一体いつ発足するのか。スケジュールも併せて聞く。

市長 佐渡版DMO推進の検討材料として6つの調査をしており、それから得られたデータはDMOの立ち上げをした「佐渡観光地域づくり推進協議会」の検討材料として活用している。また、プロモーション地域

市長 平成29年4月から交付金を活用した滞在型観光を推進している。佐渡ならではの体験型商品造成を行う。これまでに民間企業をパートナーとして地域商社の設立の方向を検討してきた。効果を早期に実現するために新たな組織の立ち上げでなく、既存のスキームを活用しながら新年度早々までに何とか策定したいと考えている。

市長 令和2年度にはスタートしたいと考えていたが、スケジュールが大きく遅れていることについてはお詫びする。これまで民間企業をパートナーとして地域商社の設立の方向を検討してきた。効果を早期に実現するために新たな組織の立ち上げでなく、既存のスキームを活用しながら新年度早々までに何とか策定したいと考えている。

市長 過去5年間の観光振興課長 調査総額は1億5162万円。この調査は基礎的なデ

市長 過去5年間の観光振興課長 調査総額は1億5162万円。この調査は基礎的なデ

市長 過去5年間の観光振興課長 調査総額は1億5162万円。この調査は基礎的なデ

一般質問

伊藤 剛 議員

第一次産業の活性化が必要



【質問】 6月議会にて、佐渡市里親漁家研修支援制度、佐渡市新規自営漁業者定着支援事業を来年度から策定するとのことだが、進捗状況はどうか。

市長 里親は、随時募集し、現在19の団体、個人から登録いただいている。来年度策定に向け、各漁協に制度内容を説明している。

市長 同時期に世界農業遺産に認定された能登地域は、当初から石川県が主体的に関わっている。佐渡市単独での広域的な活動には限度があり、新潟県にも積極的な関与を働きかけていく。

市長 課題解決に向け近県や水産庁と連携して検討していく。

市長 課題解決に向け近県や水産庁と連携して検討していく。

市長 課題解決に向け近県や水産庁と連携して検討していく。

【質問】 海産物由来のミネラル肥料を使用したブランド米を立ち上げてはどうか。

市長 海産物由来のミネラル肥料を使用したブランド米を立ち上げてはどうか。

市長 海産物由来のミネラル肥料を使用したブランド米を立ち上げてはどうか。

市長 佐渡市では、耕畜連携、もみ殻の活用、地域資源の堆肥化により地域循環型農業に取り組んでいる。4森林組合との協議を進めて、意向調査対象区域の選定や竹林整備実施区域の検討をお願いしている。

市長 世界農業遺産（GI AHS）への対応が十分でないと感じるが、佐渡市の考えを問う。

市長 両津商店街の火災のがれき撤去が終了したが、今後どのように復興・活性化していくか。地権者や地元住民、行政と一緒に進めて行く必要があるがどうか。

市長 9月中旬に地権者、商店街組合、商工会から意向調査し、関係者と考えていく。あいばーと佐渡や加茂湖を活用し玄関口としてのぎわいづくりを目指す。

市長 9月中旬に地権者、商店街組合、商工会から意向調査し、関係者と考えていく。あいばーと佐渡や加茂湖を活用し玄関口としてのぎわいづくりを目指す。

市長 9月中旬に地権者、商店街組合、商工会から意向調査し、関係者と考えていく。あいばーと佐渡や加茂湖を活用し玄関口としてのぎわいづくりを目指す。

市長 市民からの要望もあり、両津港の駐車場不足の問題の会合が開催された。佐渡市としてどのように考えているのか問う。

市長 市民からの要望もあり、両津港の駐車場不足の問題の会合が開催された。佐渡市としてどのように考えているのか問う。

市長 市民からの要望もあり、両津港の駐車場不足の問題の会合が開催された。佐渡市としてどのように考えているのか問う。

市長 まず、森林GIS、林地データを活用し所有者への意向調査、幹線道路沿

市長 まず、森林GIS、林地データを活用し所有者への意向調査、幹線道路沿

市長 まず、森林GIS、林地データを活用し所有者への意向調査、幹線道路沿

一般質問

上杉 育子 議員

学校給食は教育の二環 地産地消の拡大を



〔質問〕 学校給食センターの運営方針を問う。

〔教育長〕 将来的な人員削減という佐渡市の大きな課題の中で、安心・安全な給食の提供を維持するため、業務の一部を外部委託することは必要。

〔質問〕 学校給食センター条例には「給食センターは教育委員会が管理し、センターごとに運営委員会を置く」とある。業務の一部を外部委託することについて運営委員会の審議・検討内容を問う。

〔学校教育課長〕 運営委員会は毎年定例会として年度末に一回開催。今回の外部委託の件は話していない。

〔質問〕 教育委員会へは説明したのか。

〔学校教育課長〕 5月定例会教育委員会の中で少し触れた。

〔質問〕 外部委託について審

議する必要はないと教育長は判断したのか。

〔教育長〕 運営委員会はソフト的なものについて検討している。外部委託等については、なじまないと考えられる。

〔質問〕 佐渡市教育大綱基本方針に「地場産物の使用拡大を目指し、学校給食を生きた食材の教材」とあるが、地場産物の使用拡大の具体的な取り組みを問う。

〔教育長〕 佐渡市地産地消推進計画に基づき、市長部局と協力しながら進めている。野菜使用率・水産物使用率が30%になるよう取り組んでいる。

〔質問〕 食育は乳幼児期から高齢者までつながった取り組みが必要。学校給食での食育の取り組みを問う。

〔教育長〕 全ての学校で栄養教諭、栄養士と学級の指導者で授業を実施している。

〔質問〕 教育委員会・栄養教諭・栄養士・生産者・食料取扱業者等が連携を密にし、献立作成や食育について協議する体制、例えば献立作成委員会等の設立が学校給食の地産地消の強化につながるかと考えるがどうか。

〔教育長〕 食育に関するメニューの部分は今後とも検討が必要。なかなか上がらない地産地消の部分も含めた中で、検討していく必要があるかと思う。

〔質問〕 収穫できるものに合わせて3か月前に献立の検討が必要。地産地消の拡大政策をしっかりと行っていくべきである。考えを問う。

〔市長〕 地産に合わせた献立づくりの方向にもっていかなければならない。地産地消促進のための地域商社の機能ということを組み立てようとしている。

者で授業を実施している。

一般質問

室岡 啓史 議員

佐渡市も SDGs未来都市への名乗りを



〔質問〕 佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえのない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、「佐渡アイランド集落ツーリズム構想」の実現を私は目指している。持続可能な環境の島づくりについて問う。「前向き島づくり」を念頭に置き佐渡市もSDGs未来都市への名乗りを挙げるべきと考えられる。SDGsは、くしくもS a d o G a s h i m a の頭文字となっているため、佐渡こそSDGsを推進すべきと考えられるがどうか。

〔市長〕 佐渡市では、地方創生の目的である人口減少と地域経済の縮小の克服、まち・ひと・しごと創生と好循環の確立に向け、SDGsの理念を、次期将来ビジョンに反映させたいと考えている。SDGs未来都市

市については、応募要件や既に選定された自治体の取り組み等も研究した上で判断していきたい。

〔質問〕 去る6月に成立した柵田地域振興法。佐渡柵田協議会の7つの柵田を離島のモデル地域として新潟県へアピールし、柵田地域振興法の活用をすべきではないかと考えるがどうか。

〔市長〕 8月に柵田地域の振興に関する基本的な方針が閣議決定された。佐渡柵田協議会を中心に各柵田地域での課題を洗い出し、具体的な検討を進める予定。

〔質問〕 地域づくりへの地域防災マップの活用について問う。今年度、地域防災マップの作成、地域説明会14回について実施が完了した状況。地域防災力を高めるためのみならず、地域について学ぶ佐渡学の機会と

して、果敢に課間連携しながら地域防災マップを活用すべきと考えられるがどうか。

〔市長〕 自主防災の点において、集落など地域での共助が不可欠。地域防災マップを活用し、具体的な地域の危険箇所や避難路の確認などを地域で話し合うことで共助の意識がさらに高まるものと考えられる。ジオパークと連携した児童生徒への防災教育についても、有効であると考えている。小学校でも出前授業を行うことになっており、順次学校からの申し出に対応したい。

※SDGsとは…サステナブル・デベロップメント・ゴールズの略で、世界を変革する持続可能な開発目標のこと。2015年に国連本部で日本を含む193の加盟国の合意のもとで採択された世界を変革するための17の目標と169のターゲットで構成される。

者で授業を実施している。

者で授業を実施している。

者で授業を実施している。

一般質問

宇治 沙耶花 議員

外国人技能実習生受入と医療構想の見直しを

【質問】 今後の日本において医療従事者で一番不足するのが介護職員だ。団塊の世代が75歳以上となる2025年には244万人が必要となり、この10年で70万人の増員が必要だが、日本人介護人材のみでは約40万人だ。佐渡全体でどれくらい介護人材が不足しているか、調査を行っているのか。

【市長】 介護人材のみならず、一次産業等に対しても外国人の受入れを進めていくか組み立てなければいけない。

【質問】 実習生は日本語教育施設や日本語の授業を受けたいと願っている。官民あげての支援策を考えるべきではないか。

【市長】 その部分はちゃんと環境整備していかなければならないと思う。

【質問】 佐渡全体の介護職員人材育成計画を作るべきだ。人材が不足する中、スマイル赤泊と佐渡総合病院にベトナムから9人の外国人技能実習生が入った。今後ASEAN諸国からの実習生が増えてくると思う。市長は、次期将来ビジョンに外国人材の受入れと育成を明記すべきと思うが、いかがか。

【市長】 介護人材のみならず、一次産業等に対しても外国人の受入れを進めていくか組み立てなければいけない。

【質問】 羽茂病院入院患者数を1万3905人と見ているが、平成30年で既に1万526人と推計を下回っている。市内医療資源の機能集約をすべきだがいかがか。

【市長】 厚生連と公立病院の役割分担をし、最終形を描く作業は確実にやらなければならないと考える。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【質問】 平成27年度末に策定された佐渡市医療構想を見直すべきだ。人口推計と病院別入院患者数は計画通りに進んでいない。現状との差を把握しているのか。

【市長】 平成27年度末に策定された佐渡市医療構想を見直すべきだ。人口推計と病院別入院患者数は計画通りに進んでいない。現状との差を把握しているのか。

【市長】 平成27年度末に策定された佐渡市医療構想を見直すべきだ。人口推計と病院別入院患者数は計画通りに進んでいない。現状との差を把握しているのか。

【市長】 当然だが、一刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。

【市長】 当然だが、一刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。

【市長】 当然だが、一刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。

【市長】 当然だが、一刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。

【市長】 当然だが、一刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。

【市長】 当然だが、一刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。刻一刻と医療情勢は変わっている。



特別養護老人ホームスマイル赤泊で働く外国人技能実習生。出身国はベトナム

一般質問

山田 伸之 議員

市民の声を聞く施策を

【質問】 6月18日の新潟・山形地震における市の対応について。氣象庁の津波注意報発表から避難指示の発令に時間差があった点や、避難所の鍵が開いていない等の市民の声があった点を踏まえ、どのように検証し対応していく方針か。

【市長】 おかず等の副食費を独自施策として市が負担するための補正予算を今回計上した。子育てを支援するために必要と判断した。

【市長】 公共施設の更新、統廃合、長寿命化を計画的に行うための具体的な方針が、進捗を問う。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。

【市長】 津波に係る避難情報は、現在のシステムを変更し氣象庁からの警報・注意報と連動して直ちに発令できるような仕組みを考えている。また避難場所・方法を活用し継続的に周知啓発することで市民の不安を取り除いていきたい。